

テレビ局のCGには欠かすことのできない Adobe® After Effects®と その表現力をさらに広げるSapphire Plugins



報道局 CG センター センター長 中込 茂氏



Glow エフェクト



Glitter エフェクト

会社

テレビ山梨

番組宣伝からオープニングタイトルまで、すべて内部で制作するCGセンターを設立。独自のノウハウを積み重ねることによって、低予算によるCGシステムの構築を実現した。

www.uty.co.jp

使用製品

・ Adobe After Effects

今年、開局 35 周年を迎えるテレビ山梨では、現在、他の地方局に先駆けて、いち早く地上波デジタル放送の本格運用へ向けて着々と準備を進めている。10 年も前から内部で CG の制作に取り組んでいた同局の制作の中心には、いつも Adobe After Effects があった。

テレビ山梨では、5 年前より CG システムを導入し、番組宣伝やオープニングタイトルなどの CG 映像を内部で制作している。CG の制作を外部に委託することの多い地方局において、テレビ山梨は CG に対して積極的な取り組みを見せる数少ないケースだ。とはいえ、CG センター設立までの過程は決してスムーズではなかったようだ。「当初は私個人の持ち込み機材によって CG の制作を行っていました。まずは予算の獲得へ向けて、上層部へ CG の利便性を訴える必要があったからです。」と報道局 CG センターのセンター長である中込 茂氏は語ってくれた。

もともとはテロップなどの文字素材は紙に印刷されたものを撮影し、映像として合成していた。その後、電子テロップシステムを導入するものの、平面的で単純な動きでしか見ることができないことが不満となっていた。そこで、動きと立体感のあるフライングロゴに憧れた中込氏が、自費で Macintosh と After Effects を購入したが、テレビ山梨における CG システム導入の始まりだった。

「当時、グラフィックスと言えば Macintosh が主流でしたから、周囲にすすめられるまま購入しました。なにしろ興味本位で始めたことでしたから、まずはコンピュータの使い方から学ばなければなりませんでした。」

当初はフライングロゴのような簡単な立体物を作成することから始めたが、公共の電波に乗せて流すからには、単に文字を 3D にしただけでは物足りなかったと言う。

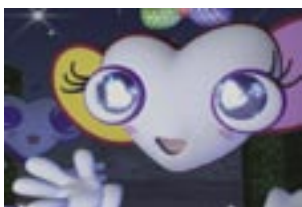
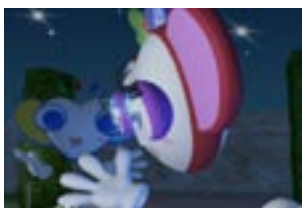
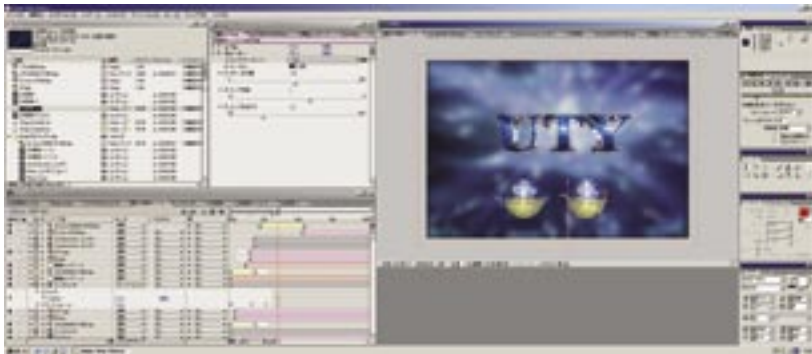
そこで映像に視覚効果を与える After Effects が活躍することとなる。

「3D ソフトによって作成した立体物を単に動かすだけでは、視覚的に十分であるとは言えません。やはり、視聴者に対してインパクトを与えるには After Effects による視覚の味付けが重要だと思います。」と中込氏は語ってくれた。

以来、中込氏は独学で After Effects を勉強するようになる。この際、日本語による資料や関係書籍が多く存在したことが大きな助けになったそうだ。さらに Web でエフェクトの種類を調べ、他局で作られた CG などを手本にししながら、いつしか After Effects を使いこなすようになる。その成果はすぐに発揮され、社内から中込氏のところへ番組のオープニングタイトルや宣伝用 CG 作成の依頼が舞い込むようになった。そこで上層部の人も CG の必要性を認識し、CG センターの設立へと繋がった。

現在の CG センターでは、Windows ベースの PC をメインとし、3ds max を利用して 3D のモデリングとレンダリングを行っている。3ds max でレンダリングされた映像に、After Effects によって効果を与え、TARGA 3000 を通じて最終的な映像としてベータカムにアウトプットされている。

さらに、表現力の幅を広げるためにサードパーティ製の「Sapphire Plug-In」を導入している。これによって、175 種類ものエフェクトが追加されることになる。サー



ドパーティ製プラグインの持つ効果について、中込氏はこう語る。「もちろん、After Effects の標準エフェクトも多く利用していますが、同じタイプのエフェクトでも、After Effects に標準装備されているものと、サードパーティ製のプラグインとでは、テイストが微妙に異なるんです。その違いが表現の幅を深くすることもあり、併せて導入することを決めました。」

Sapphire では、とくに Blur や Glow、Ray などをよく利用しているそうだ。たとえば、オブジェクトを光らせたい場合のエフェクトとして用意されているのは、After Effects Professional 標準では「グロー」のみだが、Sapphire には 11 種類の Glow エフェクトがあり、さらにパラメータも事細かに調整できるようになっている。こうした種類の豊富さとどこまでも調整できるパラメータが職人としてのこだわりを満足させ、しいては表現力のアップにつながるのだそうだ。

また、同局のイメージキャラクターである「ウツティ」を主人公にした CG では、Glint エフェクトを多用し、ファンタジーな雰囲気のある作品に仕上げた。この Glint に関して、Sapphire Plug-In を利用することによって、虹色に輝く光を作り出すことができるため、標準のエフェクトを組み合わせた場合は違ったテイストの作品に仕上げることができたと言う。「奇抜なエフェクトを多用するのではなく、番組の内容や視聴者のニーズに合わせた CG 作りを心がけることが大切。」と中込氏は語る。

CG センターでは、現在のシステム導入から 5 年が経過しようとしている。同局では、地上波デジタル放送の開始も控えていることから、CG のシステムも HD に対応させるべく、刷新を考えているとのこと。その際にも、After Effects を中心としたシステム内容にしたいと語る。「一番信頼できる職人のツールですから、最優先に考えています。」限られた予算の中でも、オンエアに十分に使うことができる After Effects には、全幅の信頼を寄せているようだ。

現在は、三人の女性スタッフとともに日々、新しい表現の方法を模索する毎日だと言う。「若い人達はコンピュータを当たり前のように使うことができるので、上達も早いですね。なによりも楽しみながら作品を作り上げています。」彼女たちは、今後も試行錯誤を繰り返しながら経験を積み重ね、個性溢れる作品を作り出して行くことだろう。

Sapphire Plugins

ハイエンドのコンポジットシステムでは定番エフェクトともいえる地位を築いていた Sapphire が After Effects をホストアプリケーションとするプラグインとしてリリースされた。「スパイダーマン」や「ロードオブザリング」をはじめとするハリウッドの大作映画でも活用されている。After Effects だけでなく、Premiere Pro でも利用することができる。

問い合わせ先：株式会社マイクロコム

<http://www.microcomltd.co.jp/>

お問い合わせ先

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー (AAD: Adobe Advanced Dealer) でお問い合わせください。AAD リストをはじめとする最新情報は、アドビシステムズホームページ (www.adobe.co.jp) で入手して下さい。製品の購入に関する詳細はカスタマーインフォメーションセンター (tel.03-5350-0470) へお問い合わせください。

アドビシステムズ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー・www.adobe.co.jp
Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・www.adobe.com

アドビカスタマーインフォメーションセンター (製品に関するお問い合わせ) 03-5350-0407

アドビストア (注文専用) フリーダイヤル 0120-60-3884 または 0120-61-3884

受付時間 9:30~17:30 土、日、祝日および弊社指定休日を除く

※アドビストアはアドビのオンラインストアです。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe After Effects は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。
© 2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.

